



## CONTENTS

- \* 研究補助員配置制度
- \* 英文校閲助成
- \* カモミール月曆
- \* サイエンス夢追い人育成プロジェクト
- \* 長良高校研究室見学会
- \* 「のむゼミ」のご紹介
- \* 保育園たより



文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」



### 募集予告

## 研究補助員配置制度

男女共同参画推進室では、育児や介護等と研究との両立支援および研究補助員（研究支援者）のチャレンジ支援・再チャレンジ支援に寄与することを目的として、研究補助員配置制度を実施しています。

＜申請期間＞ 2018年8月27日（月）～9月5日（水）午後4時 必着

＜配置期間＞ 2018年11月1日（木）～2019年3月31日（日）

＜雇用時間数＞

原則として週8時間を上限とし、5ヶ月間で合計160時間まで

TA（ティーチング・アシスタント）、RA（リサーチ・アシスタント）を担当している大学院生を研究補助員とする場合には、TA、RAと研究補助員の勤務時間が合わせて週20時間を超えないことを条件とします。

雇用時間数は、諸条件を勘案したうえで男女共同参画推進室が決定しますので、申請された時間よりも短くなる場合があります。



申請資格、申請方法などの詳細は、申請期間中に男女共同参画推進室WEBでご確認ください。

<https://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/>

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」



## 英文校閲助成

2015（平成27）年度に採択された「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」事業の一環として、女性研究者の研究力向上を目的に、学術雑誌への論文投稿に必要な英文校閲費を助成します。

＜申込期間＞ 2018年9月3日（月）～2018年10月5日（金）

＜応募資格＞ 岐阜大学に所属し、国際誌に英語論文を投稿する女性研究者（常勤の教員に限る。）  
研究分野は問いません。ただし、原則として投稿する論文の筆頭著者であること。

助成対象、助成金額、応募方法などの詳細は、申込期間中に男女共同参画推進室WEBでご確認ください。

<https://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/>

## カモミール月曆 (室長からのメッセージ)

副学長(多様な人材活力推進担当) 林 正子

### 女性の活躍推進、地元企業との連携 —— 太平洋工業株式会社 訪問 ——

岐阜大学が代表機関となり、岐阜薬科大学、岐阜女子大学、アピ株式会社の方々とともに、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境イニシアティブ(連携型)」(2015年度~20年度)「地域循環型女性研究者育成・支援プログラム」を開始して4年目を迎えました。「清流の国 輝くギフジョ 支援プロジェクト」と称しての本連携事業の成果と課題につきましては、「かもみーる通信」でも折に触れてご報告ご紹介してきたところです。

女性研究者育成・支援事業として、すでに多くの方々に関わっていただきましたように、意識啓発やキャリアパス支援のための種々のセミナー、フォーラム、シンポジウムの開催のみならず、女性教員限定公募、研究補助員配置制度、人財バンク、学童保育トライアル、保育園の拡充等々、さまざまな取り組みの実施運用を進めてきました。

また、「岐阜県を中心とする地域内での女性研究者・女性技術者の流動性を高めつつ、安定した活躍の場を確保することによって、女性による岐阜創生に繋げる」ための取り組みとしては、「連携型共同研究プロジェクト支援制度」や「女性研究者インターンシップ」等々を精力的に展開してきましたが、今年度はさらに、共同実施機関であるアピ株式会社との協同を範例として、**地元企業の皆さんとの連携を模索**しているところです。

その一環として、去る7月2日(月)、自動車部品・電子機器製造で有名な**太平洋工業(株)**(従業員数:男性1,508名 女性170名 計1,678名 2017年3月現在)の本社(大垣市久徳町)と東大垣工場(大垣市浅西)を訪問し、**小川信也 代表取締役社長との対談、女性社員の方々との座談会**に参加しました。

太平洋工業(株)は「岐阜県子育て支援エクセレント企業」(現、岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業)として認定されており、小川社長は、女性活躍推進に向けた機運を醸成するために岐阜県内の企業経営者が一堂に会した「清流の国ぎふ女性の活躍推進サミット」(2018年2月22日、岐阜都ホテル)でも、旗振り役となって「行動宣言」を提唱なさるなど、女性活躍推進について意識が高く実行力のあるリーダーとして知られています。ちなみに、小川社長には、岐阜大学経営協議会の学外委員もお務めいただいています。

太平洋工業(株)を代表する5名の女性社員の方々との座談会では、以下のようなテーマで意見交換をおこないました。

- 女性が長く(定年まで)働くために必要なことは何だと思いませんか?
- 社員一人ひとりが生き生きと働くにはどうしたらよいと思いませんか?
- ワーク・ライフ・バランスで大切にしていることは何ですか?
- 入社してから現在までにおいて、転機となったことや新たなやりがいを見出した経験はありますか?
- 自身の能力を十分に発揮するために心がけていることは何ですか?
- 仕事とスポーツ競技\*の両立、仕事と家庭生活の両立で心がけていることは何ですか?  
\*日本リーグ所属女子ソフトテニス部主将の女性社員
- 障害者、外国人、高齢者、女性などの多様な人材が、差別なく活躍できる職場環境をつくるにはどうしたらよいと考えますか? 等々

今回は紙幅の都合で、女性社員の方々による個々のコメントをご紹介することはできませんでしたが、75分にわたる座談会は、女性の活躍推進に向けて、ひいては社員一人ひとりの活躍に向けて、太平洋工業(株)の皆さんの意識の高さや取り組みの充実ぶりがうかがえる有意義な機会となりました。**育休や短時間勤務の期間延長などの制度拡充や、育児や介護時に社員どうしが支え合う風土づくり**を率先なさっていらっしゃる小川社長との90分におよぶ対談については、今秋、『CSRレポート 2018』に掲載していただく予定となっています。

今回の太平洋工業(株)訪問をとおして、**研究開発や人材確保について大学に寄せる企業側の多大の期待**を感じました。今後、男女共同参画推進室としては、企業と大学の女性研究者による**共同研究に向けてのワークショップ、情報交換、交流会**等の開催、**ワーク・ライフ・バランス実現のための勉強会**実施や**インターンシップ制度**の構築等々、企業と大学が協同してのさまざまな連携の可能性を追求してゆきたいと願っています。

## サイエンス夢追い人育成プロジェクト (女子大学院生による出前講義)

7月9日(月)岐阜県立多治見高等学校において大学院生の後藤可南子さん(生物生産環境科学専攻 修士課程2年)と永田麻純さん(知能理工学専攻 修士課程2年)が出前講義を実施しました。

後藤さんと永田さんは、自然科学コースの2、3年生(合計70名、うち女子19名)を前に、大学・大学院における研究活動や現在に至るまでの進路選択の経緯、そして受験勉強への取り組み方などについてご自身の経験を紹介しながら丁寧かつ具体的に語ってくれました。

講義後のアンケートには、「受験勉強のコツが参考になった」「研究の話が面白く、自分も研究したいと思った」「受動的ではなく能動的に物事に取り組んでいきたいと思った」等の感想が記され、今まさに進路選択に直面している高校生たちにとって有意義な機会となったようです。

岐阜大学男女共同参画推進室では、今後も岐阜県内の高校を中心に女子大学院生による出前講義を精力的に実施していきます。



▲ 後藤可南子さん



▲ 永田麻純さん

## 研究室見学会(発展型出前講義)

7月19日(木)、長良高校の2年生(理系クラス)女子生徒34名が岐阜大学を訪問し、今年で7回目となる研究室見学会を開催しました。

見学会では、4つの見学コースに分かれて工学部、応用生物科学部、教育学部の計5研究室の中から1グループにつき2か所の研究室を見学しました。

各研究室では、施設や設備を見学したほか、各研究室に所属する女子大学院生が研究内容の紹介や大学・大学院での学生生活などについて分かりやすく説明しました。

研究室見学後の女子大学院生との交流会では、女子生徒を3つのグループに分け、それぞれのグループに分野の異なる女子大学院生2名が加わり、自由な質疑応答の時間を設けました。研究室見学の際には緊張していた高校生たちでしたが、交流会では年齢の近い「先輩」たちに将来のこと、受験勉強のことなど次々に質問が寄せられ、笑い声の絶えない賑やかな交流会となりました。

アンケートには、「進路希望がより明確になった」「女子大学院生との交流会が楽しかった」「大学や研究の面白さが分かり、はやく大学生になりたいと思った」などの感想が寄せられ、女子大学院生が女子高生たちにとっての「憧れ」のロールモデルになったようです。



▲ 女子大学院生との交流会



▲ 仲澤和馬研究室



▲ 獣医病理学研究室



▲ 比較生化学研究室



▲ 王志剛研究室



▲ 自然エネルギー研究室

### 【参加女子大学院生】

- May Sweet (工学研究科) • Phyo Myat Lin (自然科学技術研究科)
- 後藤 みなみ (連合獣医学研究科) • 松井 友梨 (自然科学技術研究科) • 松本 昇子 (自然科学技術研究科)
- 沓掛 あすか (自然科学技術研究科) • 吉崎 響子 (連合獣医学研究科)

(50音順) (敬称略)

## 「のむゼミ」のご紹介



7月11日（水）の午後、岐阜大学を中心とする大学生たちが社会で活躍するゲストを囲んで社会問題を勉強する「のむゼミ」に、コーディネーターの落合絵美が参加しました。

主催者の野村奈々子さん（医学部看護学科1年生）が「岐阜大学生同士が学び合う場を作りたい!」との思いで設立した「のむゼミ」の7月のテーマは「個人が輝く社会」。オフィスリブラ代表の上松恵子さんを講師にお招きしてワークライフバランスや働き方改革に関する

説明の後、4名ずつ3グループに分かれてグループワークを行いました。グループワークでは、『AERA』の「家事育児100タスク表」や付箋を用いながら「パートナーと家事・育児を分担するには?」「子どもがインフルエンザで5日間登校停止になったらどうする?」など、共働き夫婦が直面しやすい問題について参加者が意見を出し合いました。

参加した学生たちは、「パートナーと相談しながら『自分たちの方法』を見つけることが大切」「普段から家族や会社の同僚と助け合える関係性を築いておくことが緊急時の支えになる」「自分たちの努力では解決できないことは社会の問題としてみんなで議論することが重要」などの感想が寄せられました。身近な話題を題材に思考し、仲間の多様な意見に触れられる貴重な機会となりました。



## 保育園たより



かもめ



つばめ



すこやか



岐阜大学男女共同参画推進室（人材開発部職員育成課男女共同参画係） URL：http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 TEL：058-293-3397 FAX：058-293-3396 E-mail：sankaku@gifu-u.ac.jp

\*男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願いします。